2021高遠城址公園さくら祭り実績（4月20日までの速報値）

1　桜開花状況

標本木開花：3月26日（金）⇒　3分咲き：3月30日（火）⇒　8分咲き：3月31日（水）⇒　満開：4月1日（木）⇒
⇒散り始め：4月6日（火）⇒　落下盛ん：4月8日（木）⇒　散り終わり：4月11日（日）

考察　・3月20日以降、気温が上昇したことから、記録が残る昭和58年以降、最も早い開花及び満開を迎えた。

・散り終わりも昭和58年以降、最も早い終わりとなった。

（過去10年平均⇒　開花日：4月6日　満開日：4月13日　散り終わり：4月23日）

2　入園者数

（単位：人）

区分			平成30年度	平成31年度	令和３年度	比較増減 H30比	比較増減 H31比	備考
入園者	3/29日～4/11日	全体	119,747	160,923	68,650	△ 51,097	△ 92,273	有料入園14日間
		個人	85,546	120,474	67,123	△ 18,423	△ 53,351	
		団体	34,201	40,449	1,527	△ 32,674	△ 38,922	
	伊那市民（無料）		15,119	19,892	7,377	△ 7,742	△ 12,515	
	合　計		134,866	180,815	76,027	△ 58,839	△ 104,788	

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

考察　・コロナ禍にあって、バスツアー等団体客の入込みが前回（H31）の4％に満たない状況となり、有料入園化した昭和58年以降、最小の有料入園者数となった。（これまでの最小有料入園者数はH30年の119,747人であり、これを下回る結果となった。）

・コロナ禍での移動自粛等により、個人も前回の6割に満たない入園者数となった。また、伊那市民は4割に満たない入園者数となった。

・園内の感染防止対策では、マスク着用、連絡先の登録、検温、飲食制限など来園者に協力を求め、拒否者はなく、新しいイベント様式としての取り組みが浸透、定着してきている。

3　駐車場（市営）利用台数

（単位：台）

区分		大型・中型	マイクロバス	普通車	二輪車	合　計	備考
P9グラウンド		88	18	5,588	17	5,711	
P8花畑駐車場					602	602	
P7伊東駐車場				1,054		1,054	
P6身障者用駐車場				443		443	
P20･21若宮駐車場						0	
合　計		88	18	7,085	619	7,810	
平成31年度合計		1,423	69	11,565	925	13,982	
平成30年度合計		1,226	66	8,064	408	9,764	
比較	平成31年度比	△ 1,335	△ 51	△ 4,480	△ 306	△ 6,172	
	平成30年度比	△ 1,138	△ 48	△ 979	211	△ 1,954	

考察　・大型、中型バスの台数は前回（H31）の6％程度と、団体の入園者数に比例して大きく減少している。

・全体の駐車台数も前回の5割程度にとどまっている。

・例年、大型バス専用としているP9グラウンドを普通車向けに開放した。

・4月3日（土）以外に目立った交通渋滞はなく、スムーズな交通体制を維持することができた。

4　同時開催イベント実績（※さくら祭り期間中のみ）

（単位：人）

区分	平成30年度	平成31年度	令和３年度	比較増減 H30比	比較増減 H31比	備考
信州高遠美術館【文化が結ぶ縁の物語】	5,528	3,712	1,008	△ 4,520	△ 2,704	
歴史博物館【服飾文化を支えるシゴト】	6,492	7,958	2,609	△ 3,883	△ 5,349	
民俗資料館【ひな人形展】	2,124	3,754	2,083	△ 41	△ 1,671	
合　計	14,144	15,424	5,700	△ 8,444	△ 9,724	

考察　・城址公園の入園者数に比例して、各施設もと入館者数は前回（H31）を下回る結果となった。

５ 「低炭素社会への取り組み」（出店者によるプラスチック容器等の削減状況）

※プラスチック容器等⇒「容器」、「スプーン・フォーク」、「ストロー」、「包装」、「手持ち袋」の5品目を対象とする。

削減目標	プラスチック容器等の使用を20%以上削減
削減実績	29%の削減を達成（主に容器、手持ち袋）
協力出店者数	出店数14店のうち、9店が協力（64%）

考察 ・削減目標を上回る29%の削減を図ることができた。

・脱プラスチックの取り組みに協力する出店者が6割以上となり、紙製容器等への転換という意識が徐々に深まってきていることから、翌年度以降に向けて効果のある取り組みとなった。

・容器を紙製に転換した出店者が3店、手持ち袋（レジ袋）をバイオマス製品に転換した出店者は6店となった。

６ 「市内宿泊施設の応援」（市内宿泊施設に宿泊する観光客の入園料免除実績）

参加宿泊施設	10事業所
入園引換券 利用者数	大人　661人
	こども　31人
	合計　692人
入園料市負担額	338,250円

考察 ・約700人の観光客に対し、無料入園できる引換券を発行し、宿泊施設の利用促進につながる支援を行った。

７ 「高遠さくら祭り」オンラインツアーの状況（企画・販売：伊那バス㈱）

※LIVE映像でのバスガイドによる観光案内と地元の土産品をパックにした疑似旅行プラン

開催日数	4/3（土）、4/4（日）、4/6（火）、4/9（金）　4日間
参加者数	32名

考察 ・「オンラインツアー」の提供は、初の試みの中で32名の参加があった。

・新しい観光の一つとして定着するよう連携していく。

８ 主なイベントの実施状況

（1）公園開き　3月28日（日）　午前10時から　桜雲橋前

（2）園内ライトアップ　　4月2日（金）から11日（日）まで

（3）高遠ダム特別ライトアップ　　4月3日（土）から11日（日）まで

（4）建福寺石仏ライトアップ　　4月10日（土）、11日（日）

（5）「桜一句」～高遠の春を詠む～　3月15日（月）から4月30日（金）まで

９ 総括

・今季の「さくら祭り」は徹底した感染防止対策により、期間中、多くの観光客に気持ちよく、安心して「天下第一の桜」を楽しんでいただくことができた。

・ウィズコロナ、アフターコロナの時代に向けた新しいイベント様式を実践し、社会経済活動との両立を図る上で次につながる大きな一歩を踏み出すことができた。

・全国的に桜の開花が早い傾向にあるため、今後、年度末からの「さくら祭り」が常態となることを見越し、例年より早いスケジュールでの受け入れ準備が必要となっている。

・例年園内では21店が出店し、今季は14店に減少したものの、街なかの飲食店（特に蕎麦店）を利用する観光客の姿が多く見受けられるなど、街なかへの人の流れを生むことができた。

・令和4年度にオープンする「高遠ビジターセンター」との連携を図りながら、石仏観光を兼ねた街歩きルートを充実していく。

・来年以降も来園者数の大きな回復は難しいことから、「さくら祭り」の開催・運営方針について見直しの検討が急務となっている。